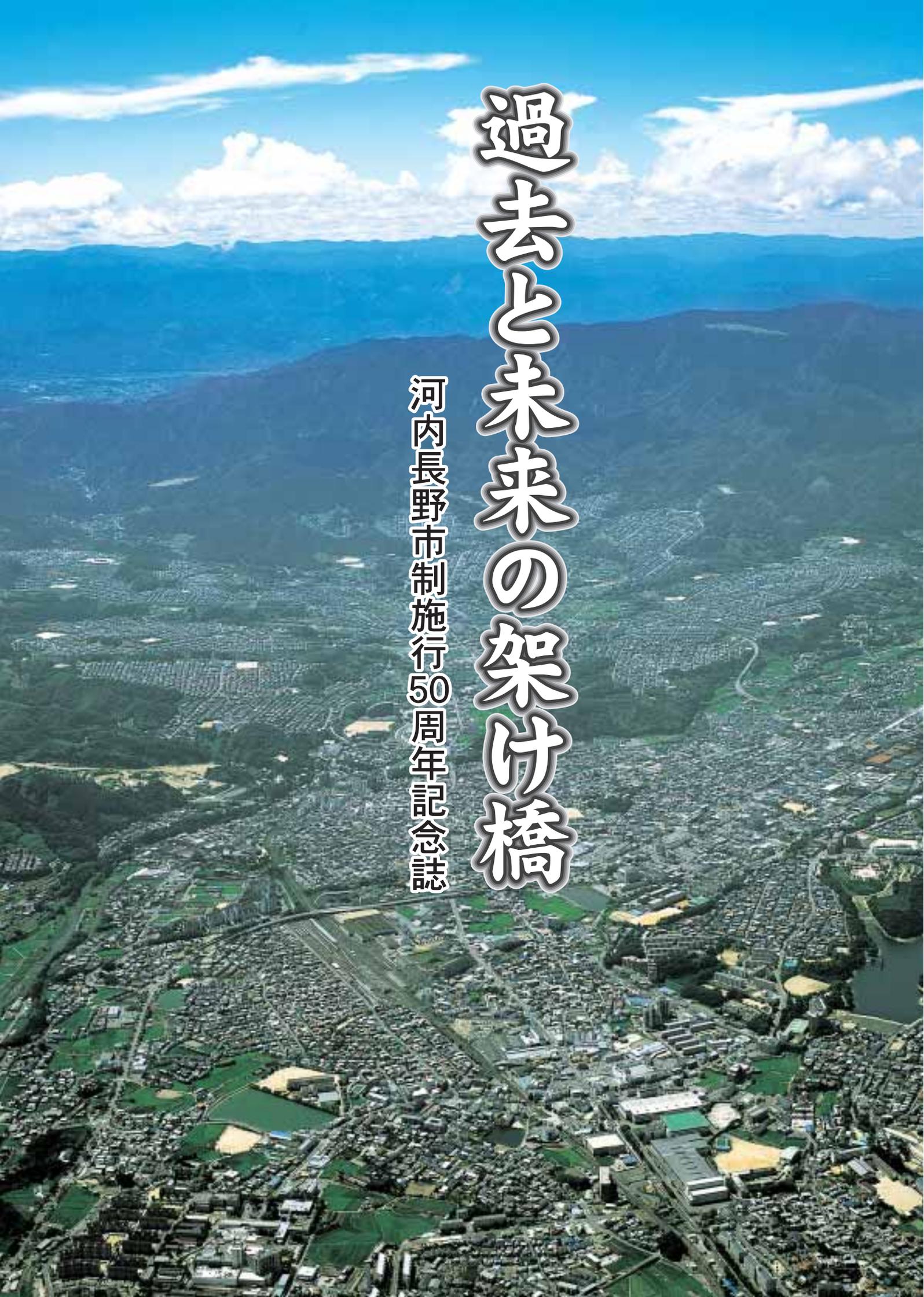


過去と未来の架け橋

河内長野市制施行50周年記念誌





河内長野市長 橋上義孝

市制施行50周年を迎えて

市民のみなさんとともに市制施行50周年をお祝いできますことは、誠に感慨深く、大変うれしく思います。

さて、半世紀の歩みを顧みますと、困難な時期もありましたが、河内長野をこよなく愛される一人ひとりの力添えに支えられ、12万都市に成長してまいりました。この間、都市経営の基盤をかためつつ、道路網の整備をはじめ、市民生活を支える様々な施策に力を注いできました。そして今、時代の潮流はその向きを変え、少子高齢化の進展や低成長のもと、行財政運営のあり方が根底から問われています。

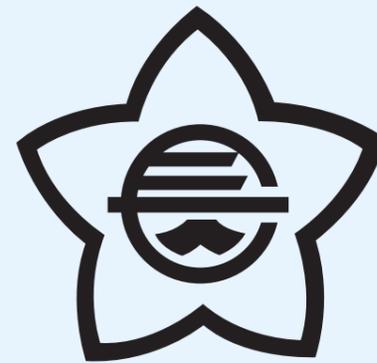
このような時期であればこそ、将来の河内長野市のありべき姿を描くため、先人たちの多大なご努力に感謝しつつ、この記念誌をひもといていただければ幸いです。



河内長野駅上空からの航空写真
(上は平成15年撮影、左は昭和29年撮影)

もくじ

市制施行50周年を迎えて	2
あのころ～モノクロームの思い出～	4
写真で振り返る50年	
昭和30年代	8
昭和40年代	10
昭和50年代	12
昭和60年～平成6年	14
平成7年～16年	16
未来のわがまち、河内長野	18
～絵画&作文コンクール～	



市役所に残る

懐かしの風景写真

～パート1～



◆西之山第1配水池から長野町方面 (昭和41年)



◆長野商店街アーケード (昭和29年)



◆五ツ辻から河内長野駅前方面 (昭和33年)



◆西代町に市庁舎完成 (昭和31年)



◆七ツ辻交差点の標識 (昭和31年)



▲スイカを食べて家族だんらん (昭和32年)
提供=甲田正明さん (天見)



▶小山田のナシ狩り (昭和10年ごろ)
提供=西端利重さん (小山田町)



▶落合橋付近 (昭和30年ごろ)
提供=松尾和則さん (原町)

あのことろ

～モノクロームの思い出～



▶石川での水遊び (昭和10年ごろ)
提供=松本要さん (錦町)



▶地域の演芸大会 (昭和24年)
提供=東田金吾さん (原町)

白黒写真の中におさまっている風景や人たち。それは、いつまでも色あせることのない大切な思い出です。ここでは、市民のみなさんからお寄せいただいた貴重な写真を中心に懐かしい写真を掲載します。
「そうか、そんな時代もあったんだ...」。
たまには、「あのことろ」の思い出にひたってみませんか。



市役所に残る
懐かしの風景写真
～パート2～

◆千代田交差点から北方面（昭和40年）



◆千代田駅前踏切（昭和41年）



◆三日市町内の高野街道（昭和42年）



◆国立河内長野病院（昭和39年・現大阪南医療センター）



◆西代水源池（昭和33年）



▲秋祭り（昭和23年ごろ）
提供＝北畑忠雄さん（原町）

▶脱穀風景（昭和40年）
提供＝匿名希望



▲長野遊園（昭和30年ごろ）
提供＝井上成美さん（清見台）



▲岩湧山での林間学習（昭和36年）
提供＝阪野泰子さん（三日市町）



▲天野山金剛寺での青年団の
すもう大会（昭和30年ごろ）
提供＝峰義治さん（天野町）

あのころ

～モノクロームの思い出～

▼木橋のころの千代田橋（昭和34年）
提供＝田中鏝市さん（汐の宮町）



S.30's

昭和30年代



牛のせり市 (33年)



石仏青年団土俵開き (31年)



映画館 (33年)



行商 (35年)



ごみ収集 (39年)



河内長野駅前 (30年)



ねずみ駆除 (31年)



交通パレード (33年)



自転車標識一斉付け替え (32年)



河内長野駅構内 (36年)



第2室戸台風 (36年)



水難防止の看板立て (38年)

昭和29年4月1日、人口3万1千52人で発足した河内長野市。舗装されていない河内長野駅前には、ボンネットバスや三輪自動車走っていました。行商や牛のせり市、ねずみ退治広報力など、今ではちょっとびっくりするような光景も、当時を知る人たちにとっては懐かしいかも知れませんね。

- 29年 4月 市制施行▽初代市長に小柴竹虎氏、初代議長に高岸宗次氏
- 30年 7月 「市章」「河内長野八景」決定
- 1月 ジェーン台風で大きな被害を受けた落合橋が修復
- 7月 本市初の市営住宅である三日市住宅が完成
- 8月 「市民歌」を制定
- 31年 1月 旧市庁舎落成式
- 5月 地財法の適用を決議▽6か年で赤字解消へ
- 32年 5月 長野遊園に展望台できる
- 7月 水道料金を従量制に▽全家庭にメーターの取り付け始まる
- 10月 第1回市民体育祭を開く
- 33年 4月 金剛山、岩湧山周辺の市域が金剛生駒紀泉国定公園に指定
- 7月 緩速ろ過池が西代水源池に完成
- 11月 天見・加賀田地区で有線放送電話がスタート
- 34年 4月 電報電話局が河内長野駅前元
- 9月 郵便局舎で開設
- 11月 長野小学校で初の鉄筋校舎の建設始まる
- 35年 5月 七ツ辻交差点で交通量調査を実施▽1日の交通量自動車(単車含む)3千608台
- 8月 長野小学校に本市初のプールが完成
- 36年 3月 ソメイヨシノの若木3千本を長野遊園に植樹
- 9月 第2室戸台風で市内に大きな被害
- 37年 3月 「交通安全都市」を宣言
- 10月 給水人口5万人に備え、水道拡張6か年計画を策定
- 38年 5月 「健康都市」を宣言
- 11月 小中学校でミルク給食始まる
- 39年 4月 七ツ辻で1日9千724台自動車(単車含む)が通過▽35年の約3倍に
- 7月 寺ヶ池公園プール、寺ヶ池公園野球場がオープン

S.40's

昭和40年代



ちびっ子ゾーン (49年)



長野中学校前 (43年)



電話局番ができる (44年)



婦人会の食品監視 (42年)



河内長野駅前 (44年)



住居表示実施 (41年)



市民憲章制定宣言大会 (42年)



小山田へバス乗り入れ (43年)



三日市歩道橋完成 (48年)



市民の声をきく公聴電話 (47年)



排水路消毒 (48年)



紀見トンネル開通 (44年)

当時は、貴望ヶ丘や青葉台など次々と住宅団地が開発され、バスや自動車による交通網がどんどん広がっていきました。また、金剛トンネル・紀見トンネルが開通し、府県境を越えた交通が活発になるなど、都市基盤・生活基盤整備が急ピッチで進められた高度成長の時代でした。

- | | | | | | | | | | |
|---|---|--|---|--|--|---|---|--|---|
| <p>7月 市営斎場「金剛霊殿」できる</p> <p>3月 南海高野線河内長野駅～三日市町駅間の複線化工事が完了</p> <p>1月 関西サイクルスポーツセンターオープン</p> | <p>49年</p> <p>12月 第1回農業祭</p> <p>7月 ごみの収集回数が週2回に</p> <p>4月 市発足後初の新設校である楠小学校在開校▽府立長野高校開校</p> <p>48年</p> <p>10月 24時間サービスのお知らせ電話と公聴電話を設置</p> <p>5月 青葉台にバス開通(団地造成に伴うバス輸送要綱適用第1号)▽資料館(現郷土資料館)オープン</p> | <p>47年</p> <p>11月 千代田橋の架け替え工事完成</p> <p>9月 東中学校開校</p> <p>1月 古野地区で区画整理事業始まる</p> | <p>46年</p> <p>12月 大師山古墳が前方後円墳と判明</p> <p>3月 総合計画(45年～60年)決まる</p> <p>4月 野作地区で区画整理事業始まる</p> <p>12月 南河内清掃施設組合第1清掃工場が完成</p> | <p>45年</p> <p>11月 紀見トンネル開通</p> <p>10月 ごみの週1回定期収集が一部地域で始まる</p> <p>4月 人口5万人を突破</p> <p>11月 市の木に「くすのき」市の花に「きく」を選定</p> | <p>44年</p> <p>12月 赤字再建団体の指定を受ける</p> <p>3月 千代田台へバス開通</p> <p>3月 寺ヶ池取水塔が完成</p> | <p>43年</p> <p>11月 「市民憲章」を制定</p> <p>8月 西代町に旧図書館がオープン</p> <p>6月 悪書追放を目指し「ヤギの箱」を駅前に設置</p> | <p>42年</p> <p>6月 長野地区で新住居表示スタート</p> <p>5月 本市と五條市を結ぶ金剛トンネルが開通</p> | <p>41年</p> <p>4月 2代目市長に井上喜代一氏</p> <p>8月 本市と五條市を結ぶ金剛トンネルが開通</p> <p>8月 長野地区で新住居表示スタート</p> | <p>40年</p> <p>3月 消防本部・消防署が発足▽議員定数を30人から24人に削減</p> <p>4月 一般家庭のごみ収集無料化▽し尿処理場が運転を開始</p> <p>8月 憩の家「河内長野荘」がオープン</p> |
|---|---|--|---|--|--|---|---|--|---|

S.50's

昭和50年代



学校給食スタート (59年)



長野遊園で盆踊り大会 (55年)



武道館完成 (53年)



水不足のため近隣市町から救援水 (53年)



ごみの3種分別収集を試験実施 (57年)



滝畑ダム築造工事 (55年)



滝畑ダム湖底さよならジョギング大会 (56年)



千代田駅前自転車置場 (51年)



観光案内所オープン (58年)



大阪外環状線の富田林～河内長野区間が開通 (56年)



河内長野工業団地完成 (51年)



外国人講師による英語指導 (55年)

53年、農作物は大干ばつにより大きな被害を受けました。また、34日間にわたる給水制限が行われるなど、市民生活にも大きな影響が出ました。しかし、57年に滝畑ダムが完成し、深刻だった水不足の心配はなくなりまし。今では、ダム周辺は緑豊かな憩いの場として、四季を通じて多くの人たちが訪れます。

- | | | | | | | | | | | |
|---|--|---|---|--|---|---|--|--|--|---|
| <p>9月 赤峰市民広場全面オープン
市内全小学校で学校給食開始▽
「非核平和都市」を宣言</p> | <p>59年</p> <p>1月 市内全小学校で学校給食開始▽
「非核平和都市」を宣言</p> | <p>6月 シルバー人材センターオープン</p> <p>58年</p> <p>4月 ごみの3種分別収集始まる
河内長野駅前に観光案内所完成
「青少年健全育成都市」を宣言</p> | <p>3月 栄町土地区画整理事業が完成
日野浄水場で通水式行われる▽
テクルート第1号「天見」岩湧」
できる</p> <p>57年</p> <p>2月 栄町土地区画整理事業が完成
日野浄水場で通水式行われる▽
テクルート第1号「天見」岩湧」
できる</p> | <p>11月 滝畑ダムが常時満水位に達し、
竣工式が行われる</p> <p>9月 滝畑民俗資料館オープン</p> <p>3月 大阪外環状線の富田林～河内長野
区間(5・3キ)が開通</p> <p>56年</p> <p>8月 3代目市長に東武氏</p> | <p>6月 休日急病診療所オープン</p> <p>4月 千代田駅前の自転車置場が1千
台収容可能に</p> <p>55年</p> <p>7月 市役所の昼休み窓口業務始まる
滝畑の光滝寺近くに滝畑キャン
プ場が完成</p> | <p>2月 都市計画道路「小塩青葉台線」
全線開通</p> <p>54年</p> <p>8月 市民総合体育館オープン
電話の市内局番と市外局番変更
異常渇水が続く、給水制限が行
われる</p> | <p>12月 南花台と大矢船を結ぶ「うじの
大橋」完成</p> <p>53年</p> <p>8月 川上公民館の新改築が完成(公
民館建物の近代化第1号)
長野音頭・河内長野八景音頭の
レコードできる(歌は芹洋子さ
ん)</p> | <p>4月 錦町土地区画整理事業が完成</p> <p>52年</p> <p>11月 河内長野工業団地が完成
千代田駅前に自転車置場できる
河内長野駅が橋上駅になる</p> | <p>10月 寺ヶ池公園庭球場オープン
福祉センター錦溪苑オープン
加賀田・天見両地区を結ぶ林道
流谷線開通</p> <p>51年</p> <p>6月 ダイヤモンド・トレル(屯鶴
峰)横尾山)できる
寺ヶ池公園庭球場オープン
福祉センター錦溪苑オープン
加賀田・天見両地区を結ぶ林道
流谷線開通</p> | <p>2月 河内長野工業団地が完成</p> <p>50年</p> |
|---|--|---|---|--|---|---|--|--|--|---|

S.60~H.6

昭和60年～平成6年



ラブリールホール完成（4年）



障害者福祉センターあかみねオープン（元年）



千代田・三日市窓口センターオープン（60年）



青少年活動センターオープン（4年）



米国カーメル市と国際姉妹都市提携（6年）



新庁舎完成（63年）



保健センター業務開始（60年）



ノバティながのオープン（元年）



45メートル級はしご車導入（3年）



自動車文庫スタート（60年）



向野住宅街区整備事業（2年）

日本経済がバブル景気にわき返ったこの時代。年号は「昭和」から「平成」へ変わりました。本市のまちづくりでは、元年にノバティながの、2年には向野住宅街区、4年にはラブリールホールと、市民のくらしや文化に密着した施設が次々と整備され、新しい生活基盤への土台づくりが進められました。

- | | | |
|---|---|--|
| <p>9月 関西国際空港開港</p> <p>8月 大阪外環状線全線開通</p> <p>4月 アメリカ合衆国インディアナ州カーメル市と国際姉妹都市提携</p> <p>2月 ごみ非常事態宣言</p> <p>6年</p> <p>10月 乳幼児医療費助成制度始まる</p> <p>6月 障害者福祉センターあかみね分館オープン</p> <p>5年</p> <p>7月 青少年活動センターオープン</p> <p>4月 ラブリールホールオープン</p> <p>2月 河内長野市国際交流協会設立</p> <p>4年</p> <p>9月 岩湧野外活動広場オープン</p> <p>5月 第1回市民まつりを開催</p> <p>4月 名画プロムナード完成</p> <p>3年</p> <p>12月 府立花の文化園オープン</p> <p>9月 3月1日を「河内長野水の日」と制定</p> <p>6月 千代田地区北部で公共下水道供用開始</p> <p>3月 向野住宅街区整備事業第1期住宅工事が完了、入居開始▽滝畑小学校が117年の歴史に幕（高向小へ統合）</p> <p>2年</p> <p>12月 国道371号バイパス開通</p> | <p>10月 障害者福祉センターあかみねオープン</p> <p>10月 千代田・三日市窓口センターオープン</p> <p>12月 「河川を美しくする都市」を宣言</p> <p>61年</p> <p>3月 天見く早口駅間に廃線敷を利用した自転車歩行者道が完成</p> <p>4月 教育相談室「やまびこ」開設</p> <p>5月 都市計画道路「野作向野線」が開通</p> <p>62年</p> <p>2月 河内長野駅前再開発ビル建設起工式</p> <p>4月 美加の台小学校が開校</p> <p>63年</p> <p>3月 人口10万人突破</p> <p>5月 原町に市役所新庁舎が開庁</p> <p>元年</p> <p>4月 河内長野駅前にノバティながのがオープン▽河内長野駅・三日市町駅周辺の公共場所を自転車などの放置禁止区域に</p> <p>10月 障害者福祉センターあかみねオープン</p> | <p>4月 河内長野駅前再開発ビル建設起工式</p> <p>60年</p> <p>4月 保健センターオープン</p> <p>6月 新総合計画（昭和61年～平成7年）決まる</p> |
|---|---|--|



市ホームページ開設（11年）



第2清掃工場稼働（12年）



なみはや国体開催（9年）



「岩湧の森」全面オープン（7年）



ふれあい考古館開館（9年）



モックル

河内長野市

シンボルキャラクター「モックル」決定（10年）

H.7~16

平成7年～16年



子育て支援センターかわちながのオープン（13年）



モックルコミュニティバス運行開始（14年）



くすのかホール開館（16年）



キックスオープン（14年）

阪神淡路大震災やバブル経済の崩壊、それに続く景気低迷など、日本は「失われた10年」へ突入します。しかし、それは市民と行政との協働によるまちづくりが動き始めた時代でもありました。本市では環境や交通、医療福祉、教育などの分野で様々な制度や施設が充実され、未来への橋が架けられました。

- 7年 「岩湧の森」全面オープン
- 9年 第3次総合計画（8年～17年）決まる▽滝畑コミュニティバス運行開始
- 8年 ごみシール制スタート
- 2月 関西国際空港行きリムジンバス運行開始
- 6月 「人権擁護都市」を宣言
- 7月 市域100%給水達成
- 8月 4代目市長に橋上義孝氏
- 9年 ふれあい考古館開館
- 10月 「情報公開制度」「個人情報保護制度」スタート▽シンボルキャラクターのデザイン決定▽なみはや国体開催
- 10年 シンボルキャラクターの愛称が「モックル」に決定
- 11月 土砂埋立て等による土壌汚染と災害を防止するための規制条例施行
- 12月 小児夜間救急医療スタート
- 11年 水道水源保護条例施行
- 10月 市ホームページ開設
- 12年 介護保険制度始まる▽南河内清掃施設組合第2清掃工場稼働▽あやたホール（小山田コミュニティセンター・地域福祉センター）オープン
- 10月 ごみ非常事態宣言を解除
- 13年 子育て支援センターかわちながのオープン
- 5月 議員定数を24人から22人に削減
- 2月 生活安全条例施行▽小児夜間救急医療完全実施
- 4月 ラブリーホール入館200万人突破
- 5月 モックルコミュニティバス運行開始▽キックス（市民交流センター・図書館）オープン
- 7月 三日市町駅前再開発事業再開
- 10月 ビル着工
- 11月 図書館入館100万人突破
- 16年 くすのかホール（清見台コミュニティセンター・地域福祉センター）開館
- 4月 市制施行50周年

入賞者
決まる

絵画 & 作文コンクール

作文コンクール

「わがまち河内長野の未来」

最優秀賞

「満開の桜」

橋田佳織さん（長野中3年）

優秀賞

「自然な風景を残して」

重命恵美さん（清教学園中2年）

「未来のわがまちに願うこと」

中野真由美さん（東中3年）

佳作

「僕が思う『かわちながの』」

浅井壮馬さん（美加の台中1年）

「河内長野市は街？それとも田舎？」

大原田雅美さん（南花台中2年）



優秀賞

高野美摘さん（三日市小2年）

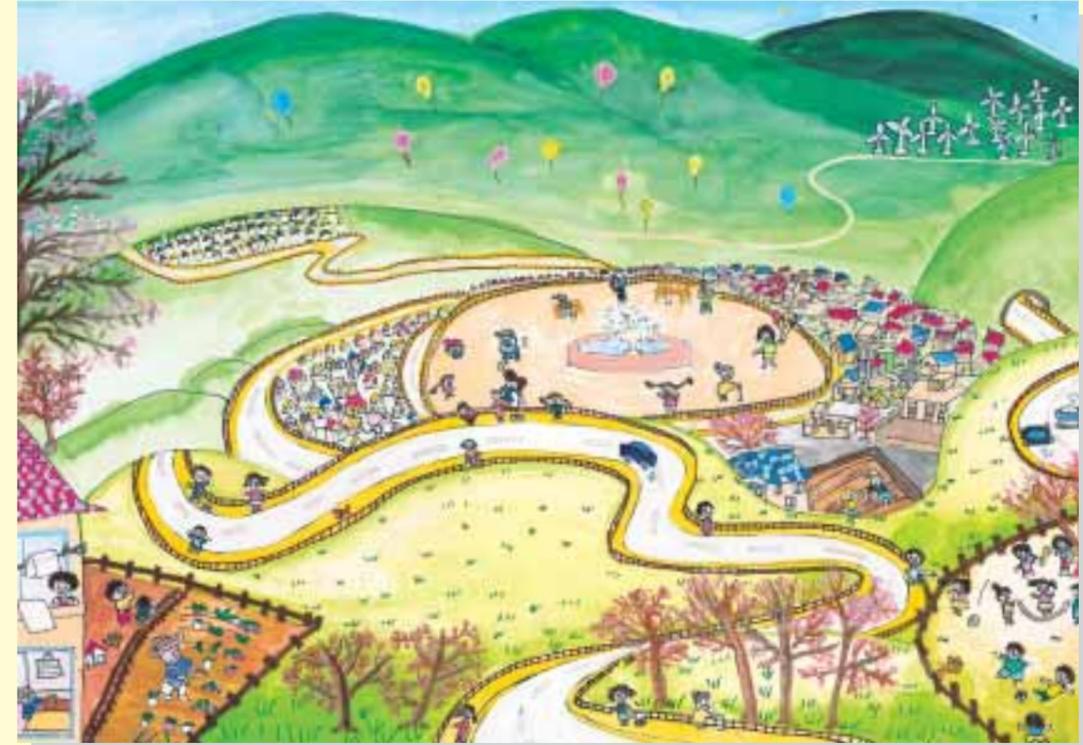
自然が豊かな河内長野が好きなので、緑いっぱいの町をイメージしました。一年中草花が咲き、自然や動植物と仲良く暮らせる町になってほしいです。



優秀賞

車谷有梨さん（高向小6年）

生活に必要なエネルギーを自然からもらえたらすてきだと思ひ、風力発電や燃料電池、太陽電池などを使って活力を生み出している町を描きました。



最優秀賞

宮花優さん（三日市小4年）

ある時、お年寄りが坂道をしんどそうに上がっていくのを見て、動く歩道があればいいなと思ひ、この絵を描きました。河内長野は坂が多いので、動く歩道があれば、お年寄りや身体の不自由な人も、もっと生活しやすくなると思ひます。風力発電で作った電気で歩道を動かせば、環境にも優しいのではないのでしょうか。



その他の入賞者

● 優良賞 ●

植田敦子さん（高向小6年）

廣田 慧さん（天見小3年）

● 佳作 ●

佐々木遥さん（南花台西小1年）

高口尚子さん（南花台東小4年）

竹田 優さん（南花台西小1年）

谷川愛季さん（長野小3年）

本山勇亮さん（加賀田小2年）

絵画コンクール
「ぼくの、わたしの未来のまち河内長野」

市では、平成18年度から27年度を計画期間とする第4次総合計画を策定するため、市内の小学生を対象とする絵画コンクールと中学生以上の市民を対象とする作文コンクールを開催しました。絵画96点、作文33点の応募があり、このほどそれぞれについて次のとおり入賞者が決まりましたので紹介します（順不同▽受賞者の学校名・学年は応募時点・平成15年度のもの）。



河内長野市制施行50周年記念誌 過去と未来の架け橋

平成16年（2004年）4月発行

発行●河内長野市

〒586-8501 大阪府河内長野市原町396-3

☎0721-53-1111（代）

ホームページ<http://www.city.kawachinagano.osaka.jp>

E-メールinfo-kw@mbox.city.kawachinagano.osaka.jp

企画・編集●企画総務部市民参加推進室広報広聴グループ

